



発行所 藤立芦屋高等学校 出版部 兵庫県芦屋市宮川町6-03

選挙速報 ☆

# 選挙なんて無関心

## 立候補者不調

### 芦高自治の危機!!

△△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△  
 △△△△△

自治会役員立候補受付の締切りは、先月三十一日だった。副会長に児玉洋介君(1年A組)、岡田真紀さん(1年B組)の2人が立候補したのみで、今年も定員不足のため、今月七日まで、一週間延期された。最近の選挙の傾向として立候補者の定員不足→公示期日の延期→定員ギリギリの立候補者→管区投票...というケースがよく見られる。昨年はまさしくこのケースであった。そして、今年も昨年と同じ軌道を進もうとしている。毎年つまり文句のように言われる「自治会の危機・自治の覆滅」という言葉。

世間では、総参両院選挙を持ち切りであるが、芦高自治会選挙については気をもむのは現執行部と選挙ぐらいいではないでしょうか。現在、1年生がふたり立候補しただけで、今年の自治会の中心となる2年生が誰ひとり声をあげないのは残念です。このままでは自治会崩壊は避けられません。

記念祭はもちろんです。自治会の行事の運営、あげくの果てには、「自由・自治・自律」の伝統も消えてしまいます。皆さんが自治会議員である以上、良き伝統は継承するべきです。もうかれ、自治会の事を真剣に考え下さい。(選挙管理委員会)

今年こそは、その言葉を聞きたくないと想っている。(本年度五月九日発行「執行委員会報」第一号より)という現執行部の期待を裏切ってしまうことになりそうだ。現在、全自治会員の内、選挙に関心を持っている人は...

「自由」の三原則も失った芦高にやがて、何の価値があるだろうか。今こそ、我々全自治会員が、自治というもののために改めよう。そして、自分達を言えよう。そして、自分達...

が何人いるだろうか。自治会に力をつけてきたという人が何人いるだろうか。おもしろく思う人が何人いるだろうか。振りほどしかりのりのはなれどうな。もし、このまま立候補者が出ないという状態が続けば、オマリ文句といわれる自治の喪失は、本当に堪えきれない。文句というわけにはいかなく、なってしまう。自治権を失うということは、必然的に自由を失うことになるだろう。そして、自律などは手も届かない遠いものになってしまうことはまちがいない。「自由・自治・自律」...

## 立候補者 (6月3日現在)

- 副会長 児玉洋介 (1-A)
- 岡田真紀 (1-B)



おあび印刷の都合上、第百九十二号、百九十三号の発行が前後しますこととお知らせします。

### お知らせ

◎立候補者の公示期日は六月七日(土)に延期された。登壇及び、放談後、書記局に於いて受付している。◎選挙定員は、会長一名、副会長二名、書記局長一名、執行委員三名の計七名である。